

■大気汚染が観測されたら

一定の濃度を超える場合は注意喚起を実施

PM2.5 や光化学オキシダントについては、環境省により、人間の健康に被害を及ぼす可能性が高いとされる濃度が定められています。

基準を超える濃度が観測された、または超えると見込まれる場合には、県から注意喚起や注意報の発令が行われ、市の防災無線や県の登録制メールのほか、テレビ・ラジオなどを通じて、市民の皆さんにお知らせします。



大気汚染にかかる注意喚起などの基準

	発令基準濃度	対象区域
PM2.5	70 $\mu\text{g}^{\ast 1} / \text{m}^3$ (1日の平均値)	福井県(全域)
光化学オキシダント	0.12ppm ^{※2} (1時間あたり)	若狭地域(小浜市、若狭町の一部、おおい町、高浜町)

※1: マイクログラム。1 μg は1 μg の1,000分の1
 ※2: 百万分率。1ppmは、1%の100分の1

県内の観測値と注意喚起などの状況

・PM2.5

直近では、平成26年2月に福井市や敦賀市などで基準濃度を超えたため、県全域に注意喚起が行われました。

・光化学オキシダント

本年5月、敦賀市で基準濃度を超えたため、二州地域(敦賀市、美浜町、若狭町の一部)に注意報が発令されました。県内での発令はおよそ17年ぶりです。

大気汚染に備えるために

大気汚染に関する注意喚起や注意報の発令があった場合は、次のことに注意しましょう。

- ・屋外にいる場合、作業などを中止して、建物の中に入る。
- ・目や喉に刺激を感じたら目を洗う、うがいをする。症状がひどいときは医師に相談する。
- ・不要な外出はできるだけ控える。
- ・換気や窓の開閉は必要最低限にする。



■大気汚染を防ぐためにできること

大気汚染を予防するには、原因となる物質の排出を抑えることが重要であり、私たちが日常生活の中で少し工夫するだけでも、抑制の効果が期待できます。

「地球環境のため」と無理をするのではなく、「自分のため」にもなる節約・省エネの一つの方法として、一人ひとりができることに取り組みましょう。

👍 私たちにできること

1. 省エネで節約と大気汚染予防を両立!

電力の消費量を抑える「省エネ」は、発電時の大気汚染物質の排出を減らすことにつながります。

次の取り組みを実践して、大気汚染の予防を図ると同時に、家計も節約しましょう。

- ・白熱灯を、蛍光灯やLED電球に取り替える
- ・エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- ・冷蔵庫は中身を詰め込みすぎないようにする。また、開閉する回数を減らす
- ・炊飯器などの保温機能は長時間使わない

!! 省エネについては、P7の記事も合わせてご覧ください

2. カー・セーブで排ガスを抑制!

毎週金曜日は「カー・セーブデー」です。自家用車の使用を控え、公共交通機関や自転車などを利用することで、排ガスを抑制しましょう。

3. エコドライブで燃料を節約!

燃料の消費を抑えるため、次のことを心がけましょう。

- ・発車時にゆっくりアクセルを踏む「eスタート」
- ・停車時はエンジンを切り、アイドリングを減らす
- ・渋滞を避け、時間に余裕を持って出発する
- ・必要のない荷物は車から降ろす

きれいな空を、いつまでも みんなで防ごう 大気汚染

■問い合わせ 環境衛生課 ☎ 64・6016

私たちが普段、何気なく吸っている大気の中には、酸素や二酸化炭素をはじめとする気体成分のほかに、花粉や、肉眼で見ることが難しい細かい粒(微粒子)など、さまざまな物質が含まれています。

中には、増加すると人の健康や地球環境に悪影響を与える物質もあり、その多くは、人間の経済的・

社会的活動が原因で増加しています。

特に近年、微小粒子状物質(PM2.5)や光化学オキシダントといった有害物質による健康被害の発生が懸念されています。

今回は、こうした有害物質による大気汚染の状況や、その対策について紹介します。

■大気汚染を引き起こす「有害物質」

微粒子状物質 (PM2.5)

自動車の排ガスや、ボイラーや焼却炉から出る煙などに含まれる、直径2.5マイクロメートル[※]以下の非常に小さな粒子です(右図参照)。

粒が非常に小さいため、呼吸で吸い込んだ際、肺の奥深くまで入り込みやすい特徴があります。

ぜんそくや気管支炎といった呼吸器系や循環器系の病気にかかったり、悪化したりする危険性があるため、こうした病気がある人や、子どもや高齢者などは特に注意が必要です。



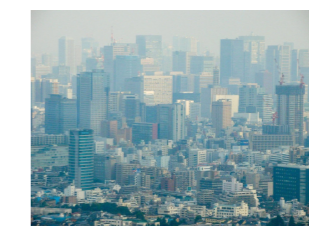
※1マイクロメートル(μm)は、1ミリメートルの1,000分の1

光化学オキシダント

自動車や工場などで、燃料を燃やしたり、塗料や溶剤などを使ったりした際に出る化学物質が、太陽の光を受けて有害な物質に変化したものの総称です。

大気中の濃度が高まり、空が白くかすんで見える状態を「光化学スモッグ」と言います。

光化学スモッグが発生すると、健康への被害として、目がチカチカする、多量の涙が出る、喉が痛む、咳が出るなどの症状が出ることがあります。



光化学スモッグで白くかすんだ都市

大きさの比較 (概念図)

